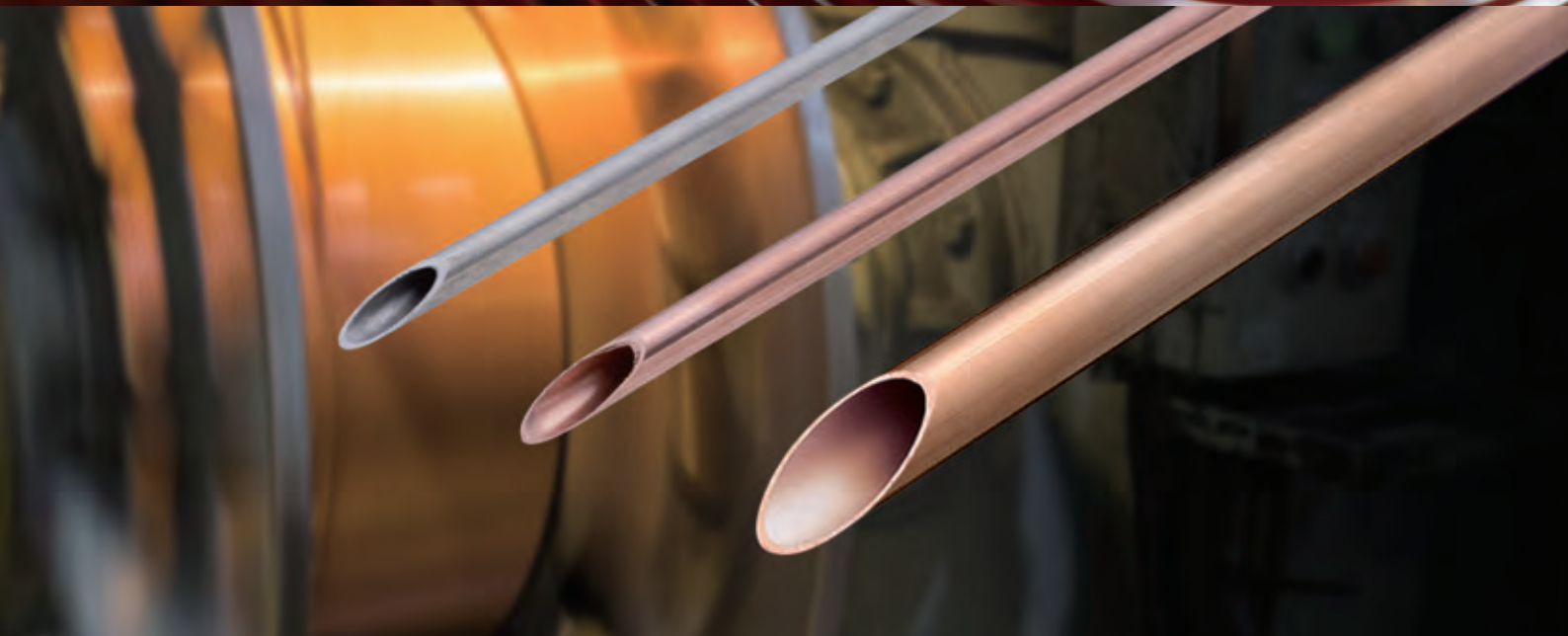


C O R P O R A T E P R O F I L E

会社案内



NJT

NJT銅管株式会社

長年の技術を活かした新たな挑戦

原子番号29、原子量63.546。銅は、人類がもっとも早く出会った金属と言われ、そのすぐれた特性により、古くから私たちの生活に密着してきました。現代では宇宙開発や情報機器などの先端分野でも重要な役割を果たしている、古くて新しい金属です。創業から今日まで、そしてこれからも私たちは、「流れ」を絶えず見つめながら、時代の「流れ」に合わせた熱交換器製品、アルミ内面溝付き管等の各種金属製品を生み出してまいります。



快適な社会生活を支える基盤となり 地球環境の改善に貢献します。

代表あいさつ

私たちは、明治30年の「住友伸銅場」開設以来、一貫して銅管を製造してきました。永年にわたる銅管製造の経験と研究開発で培ってきたテクノロジーを通じて、冷凍空調、給水給湯、エネルギーの3つの事業分野において常に時代を先取りし、ニーズを的確に捉えた製品、サービスをお客様にお届けすることで、わが国、ひいては世界中のインフラの発展に寄与してまいりました。

私たちを取り巻く事業環境は、地球温暖化の進行や環境問題に対する低・脱炭素への取り組み、持続可能な社会の実現に向けた取り組み、そしてグローバル社会の急速な変化などにより、これまで以上に不確実性が増しています。こうした時流の中でも確かな経営基盤を維持・発展させるため、私たちは品質や技術力のさらなる向上、新たな成長戦略の実現に取り組み、経営理念のもと社会・ステークホルダーの皆様への貢献、従業員の幸福の追求に努めてまいります。



代表取締役社長
石黒 則充

経営理念

熱交換関連製品の高機能化を追求するお客様の課題に対して、技術力・加工力で応え、最適な製品・サービスを提供することで、従業員の幸福を追求するとともに、快適な社会生活を支える基盤となり地球環境の改善に貢献する

NJT行動規範

感謝信頼：常に感謝の気持ちを持ち、正直に、社内外の関係者と接することで社会に信頼を築いていく

改善努力：地道な努力を厭わず、日進月歩の改善を積み重ねる

創意変革：日々変化する外部環境に機敏に適應するために、変革を嫌わず、新たな発想でチャレンジする

果敢実践：勇気をもって、迅速果敢に変革を遂行し、成果をだす

1897

1897 住友本店が日本製銅株式会社を買収し、住友伸銅場を大阪市の安治川に開設

1913

住友総本店が住友伸銅所と改名

1921

住友総本店が住友合資会社に改組し、住友合資会社 伸銅所となる

1926

住友合資会社から分離し、住友伸銅管株式会社が発立され伸銅所の営業権を継承



住友伸銅所安治川工場全景(大正年間) 写真提供:住友史料館

1930

1935

住友伸銅管株式会社が株式会社住友製銅所を吸収合併し、住友金属工業株式会社となる

1941

名古屋軽合金製造所(名古屋市港区)設置

1947

名古屋製造所を伸銅所と改称、伸銅事業50周年記念式典を挙げる

1952

住友金属工業(株)に商号復帰

1959

住友金属工業(株)の伸銅・アルミ部門分離、住友軽金属工業(株)設立

1960

1969

住軽伸銅工業株式会社(愛知県宝飯郡一宮町、現:豊川市)設立

1975

技術研究所新設

1980

1985

住軽伸銅工業株式会社を吸収合併、同社工場を伸銅所とする

1990

SUMIKAI (MALAYSIA) Sdn. Bhd.設立

1996

伸銅所(社)日本プラントメンテナンス協会よりTPM優秀賞第一類受賞、技術研究所を研究開発センターに改称

1997

住軽(広州)金属有限公司設立

2000

2006

スミケイ銅管販売株式会社設立

2011

伸銅営業部門を含め、株式会社住軽伸銅へ分社化

2012

日立電線(株)国内銅管事業撤退に伴い、設備・技術の一部を購入・譲渡・移管

2013

住友軽金属工業と古河スカイの統合によるUACJ設立に伴い、商号を「UACJ銅管」に変更

2019

UACJグループから資本独立し、商号を「NJT銅管株式会社」に変更

2010

2021

当社100%出資の連結子会社である「NJT銅管販売株式会社」、「NJT銅管パッケージ株式会社」、「東洋フイツテング株式会社」、「NJT銅管グリーンサービス株式会社」を吸収合併

2021

マレーシア工場でアルミ事業立ち上げ

伸銅品・技術・製品の歴史

復水器用銅合金管チタン管(コンデンサーチューブ)

1932

復水器用「アルブラック管」の製造開始



1963

復水器用合金「APブロンズ」管の開発(大河内記念表彰)



1970

チタン管の火力発電所への納入開始

1976

復水器管用内面防食処理技術「APF」の開発

1952

チタンの研究開始

1981

復水器用チタン/黄銅二重管の開発

1982

チタン管の原子力発電所への納入開始



1996

チタン内張り復水器管の開発(日本伸銅協会技術表彰)

2000

チタン二重管の原子力発電所への適用開始



2015

製糖装置伝熱管への銅合金管の販売量拡大

2020

チタン管の製造・販売の終了

2023

復水器用銅合金管の製造・販売の終了

空調用内面溝付銅管(リップルフィンチューブ)

1976

平滑管

1979

内面溝付管「リップルフィンチューブ」生産開始(AAタイプ)



1983

リップルフィンの高性能化(FFタイプ)



1987

リップルフィンの高性能化(FNタイプ)



1994

リップルフィンの高性能化(ハイ&スリムタイプ)



1998

リップルフィンの高性能化(高リード角タイプ)



2002

内面溝付き銅管用転造油を自社開発し、低残油量と高潤滑性の両立達成

2003

エコキュート向け厚肉タイプ量産開始

2006

CO₂冷媒を用いた伝熱管及び熱交換器性能評価装置導入

2008

リップルフィンの細径薄肉化 高強度銅管の量産開始



2014

蟻の巣状腐食対策銅管「DANT®」の量産開始

各種金属加工管、熱交換器、継手等

1933

水道用銅管の製造開始



1972

被覆銅管「プリゾール・チューブ」技術導入



1979

スポット溶接用電極材(C08:ジルコニウム入クロム銅)の販売開始

1984

銅製ヒートパイプの販売開始

1990

建築配管用内面スズ被覆銅管「STC」の開発



2006

CO₂冷媒を用いた伝熱管及び熱交換器性能評価装置導入

2009

CTシャットの量産開始(北海道限定品)

2012

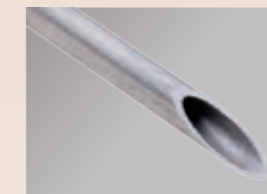
サーモエクスセルの量産開始
クロスローレットチューブの量産開始
エコキュート用水熱交換器の量産開始
CLTの量産開始

2018

RGプレスの量産開始

2022

アルミ内面溝付き管の製造開始

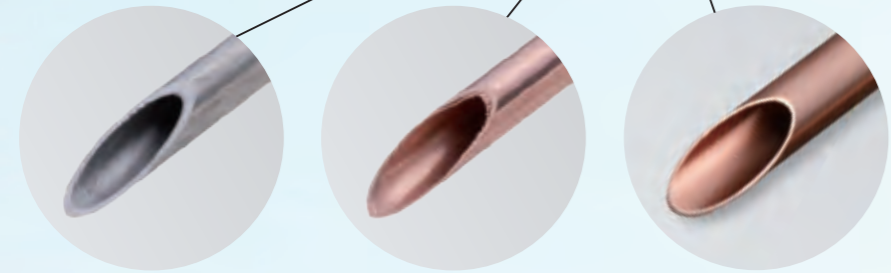


暮らしに安心・安全をお届けします。

私たちは長年の経験に基づく技術を駆使し、素材特性を最大限に引き出すことにより、地球環境に配慮した、省冷媒化に対応する熱交換関連製品などの新製品開発を行っております。

エアコン用

エアコン熱交換器には内面に螺旋状の溝が加工された伝熱管が使用されています。NJTグループの内面溝付き管は40余年にわたりお客様からの信頼を頂いています。さらにNJTは世界初の蟻の巣状腐食による冷媒漏洩を抑制する銅管「DANT®」の製品化、アルミ内面溝付き管の開発等、積極的に製品開発・技術革新を進めています。エアコン室内機のカバーをちょっと開けてみてください。そこにNJT銅管の製品がありますよ。



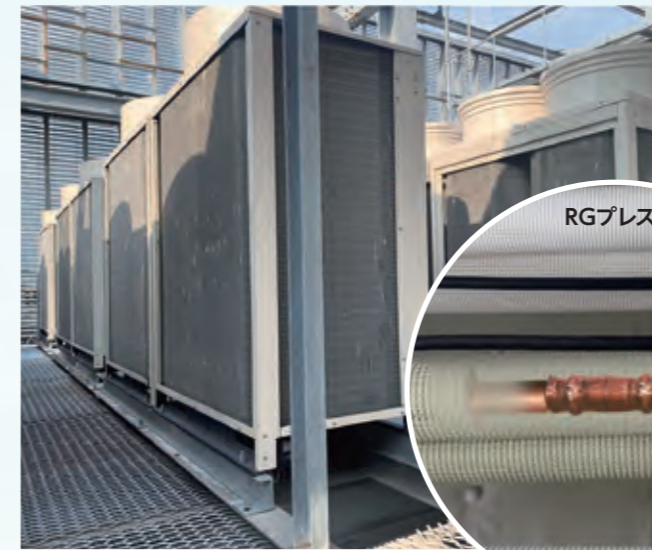
アルミ内面溝付き管

銅内面溝付き管

蟻の巣状腐食対策銅管 DANT®

空調設備用

今や暮らしに欠かせない空調設備。ビルの裏舞台でもNJT製品が多く使われています。NJTの銅配管用継手供給は60年以上の歴史があり、その信頼性を高く評価頂いております。ビル工事現場で、作業者の技能に左右されることなく短時間で安全・確実な施工を実現するプレス式冷媒配管用火無し継手「RGプレス®」や、湯水各種ワンタッチ継手の製品化などを進めております。



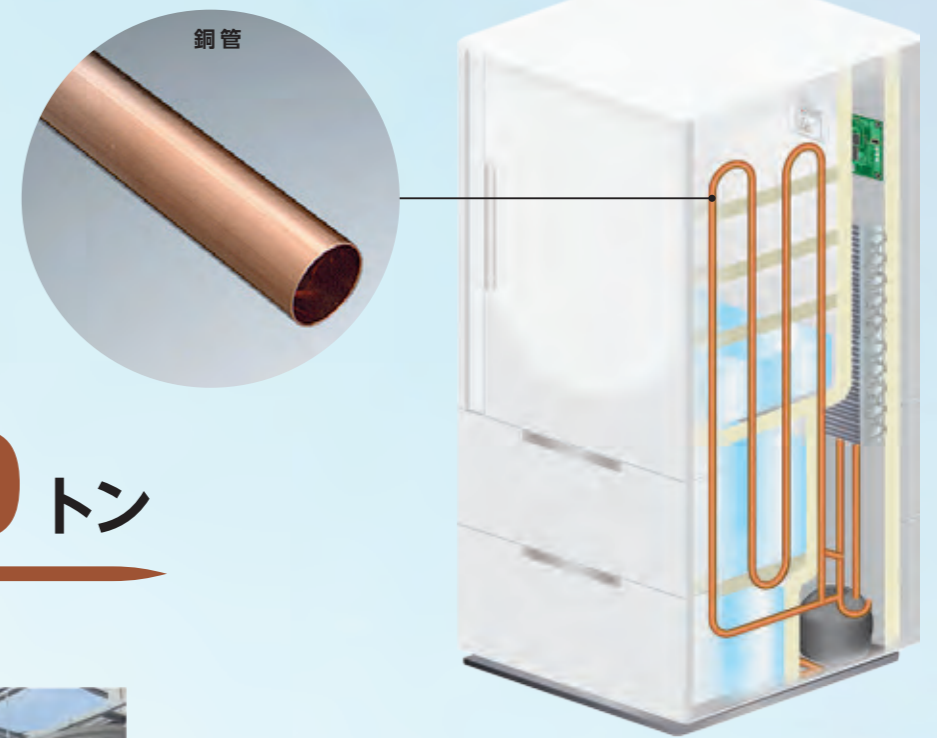
RGプレス®

継手



冷蔵庫用

日常生活には欠かせない冷蔵庫。冷蔵庫は熱交換器の冷却性能だけでなく、その信頼性が重要です。機器の寿命確保・信頼性向上にもNJT製品が役立っています。



銅管

銅管の
最大生産量
(年間)

約 **48,000** トン

自社製造のさまざまな伝熱管を利用し、ろう付などの銅加工技術と熱交換器の設計力、評価技術を融合させ高性能な各種熱交換器を提供します。

螺旋溝形状により内面溝付き銅管と同等以上の熱伝達率が実現でき、アルミ押出ストレート溝付き管よりも伝熱性能が向上できます。

銅管

STC銅管
STC(スーパーティンコート)銅管は、特殊技術により、銅管の内面に均一な金属スズをコーティングした銅管です。銅イオンの溶出を極めて低く抑え、耐孔食・潰食性に非常にすぐれています。

床暖房パネル
温水式床暖房パネルは、銅管に温水を循環させて、その熱を床に伝えるクリーンな暖房です。

銅管応用製品

熱交換器

軸受油冷却管

水熱交換器

水冷リアクトルコイル

サーモエクセル二重管

フィンチューブ

サーモエクセル

バイメタルフィン

ローフィン、ミドルフィン、ハイフィン

クロスローレットチューブ

アルミ管

アルミ内面溝付き管

アルミサーモエクセル管

電極材・電気系材料

スポット溶接用電極材 C08 (ジルコニウム入クロム銅)

自動車電装用モータ電機子 (コンミテータ)

ヒートパイプ

ヒートパイプ

ヒートパイプ式ヒートシンク

管の内面に毛細管構造を持たせた金属パイプの内部を真空にし、作動液として少量の水などを密封した伝熱素子です。

電気伝導度が非常に高く、加工性に優れた銅は、自動車工業分野におけるスポット溶接用電極材料や自動車電装用モータ電機子に用いられています。

世界に誇れる技術力があります。

明治30年「住友伸銅場」の開設以来、私たちは、一貫して銅管を製造してまいりました。
 永年にわたる豊富な経験と研究により高品質な製品をお届けすることができる生産体制を確立しています。
 NJT銅管では、新しい銅管の開発など常に時代を先取りし、お客様のニーズを的確にとらえた製品を製造してまいりました。
 また、品質・性能のコストパフォーマンスにも注力しています。

鑄造



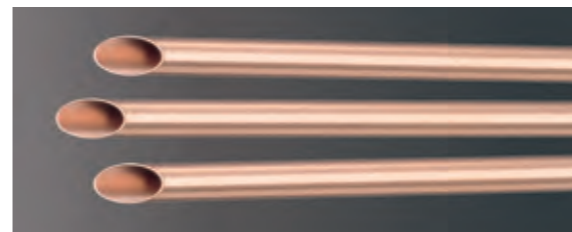
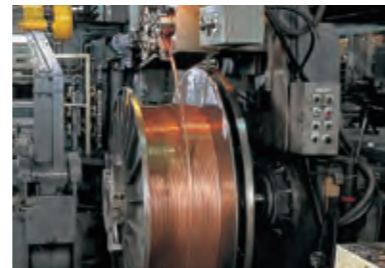
5000トンプレス



ブルブロック

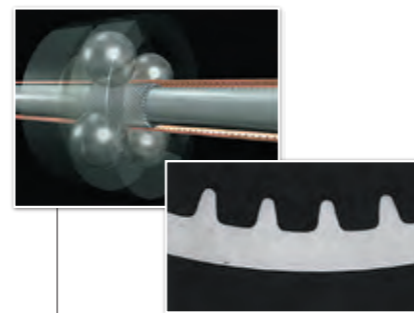


スプーラー



リップルフィンチューブ (R/F)

溝を持ったプラグを銅管に挿入し、外周のボールを高速回転させながら押し付け、銅管内面に溝を連続的に加工します。



焼鈍により所定の機械的性質に仕上げていきます。



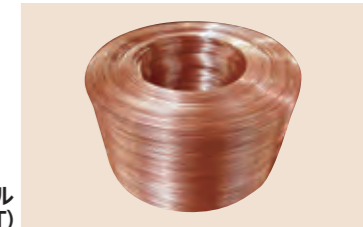
直管



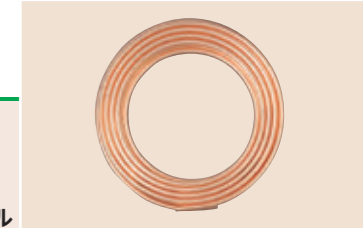
レベルワウンドコイル (LWC)



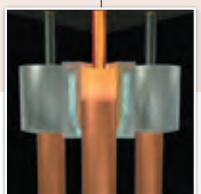
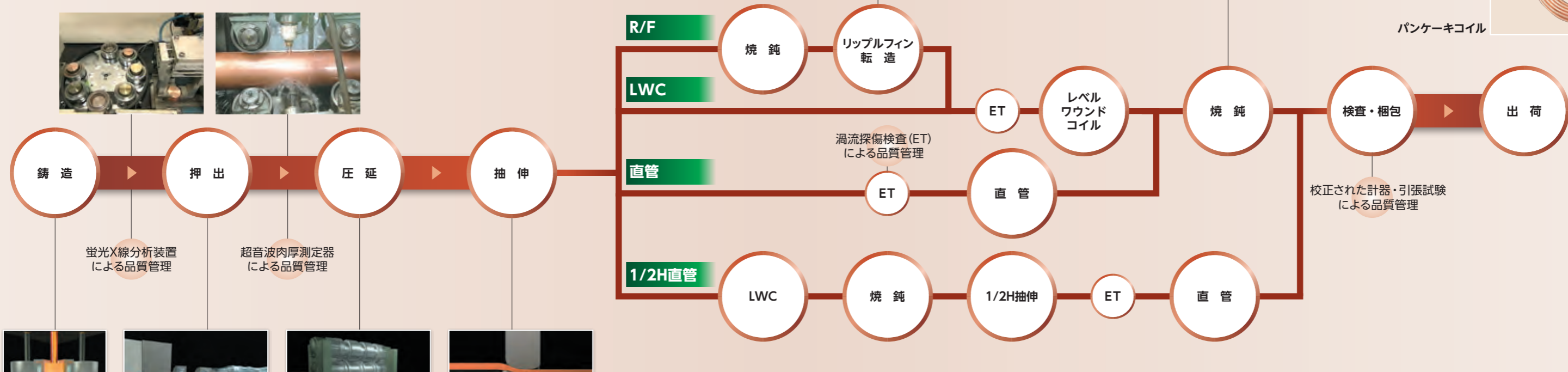
多層パンチ巻コイル (VOLT)



パンケーキコイル



銅管・内面溝付銅管の製造工程



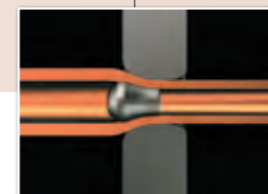
溶湯は連続鑄造の鑄型に流し込まれ、鑄型内で凝固して、約10メートルのインゴットになります。



ダイスとマンドレルのすき間からパイプの形に押し出していきます。



溝のついたロールが回転しながら前後方向に往復運動し、圧延していきます。



フローティングプラグとダイスを介して外径を小さくし、肉厚を薄くしていきます。

品質管理

NJT銅管では、お客様に満足頂ける製品をお届けするため、原料の地金から出荷に至るまでの全ての工程を通じて、コンピュータを用いた総合的な品質管理を行っています。



発光分光分析装置による品質管理



会社概要

社名 NJT銅管株式会社
 NJT Copper Tube Corporation

設立 2011年10月

代表者 石黒 則充

資本金 100百万円

株主 アスパラントグループ株式会社 75%
 大和PIパートナーズ株式会社 25%

従業員数 約600名

事業内容 銅及びその合金の鋳塊・管・棒等並びに各種金属加工管・熱交換器・
 継手などの加工品製造及び販売

本社 愛知県豊川市大木町新道100

グループ会社 NJT SOLUTIONS (MALAYSIA) SDN. BHD.

所在地 Lot P.T.630, Jalan Emas 1, Nilai Industrial Estate,
 71800 Nilai, Negeri Sembilan Darul Khusus, Malaysia

TEL +60-6-7992130

地域コミュニティとのつながりを大切にしながら、
 グローバルな調達力を活かし、最適かつ環境に配慮した商品を
 提案・製造してまいります。



夏祭り



本社・伸銅所

JIS H 3300、ISO9001・ISO14001 認証工場です。

営業部
 西日本営業室

継手・住設事業部
 住設営業室 大阪住設営業グループ

営業部
 東日本営業室

開発営業室

継手・住設事業部
 住設営業室 東京住設営業グループ

継手・住設事業部
 住設営業室 九州住設営業グループ

継手・住設事業部
 住設営業室 名古屋住設営業グループ

TF工場

本宮センター / 飛鳥センター / 遠若センター
 JIS H 3401・ISO14001 認証、
 JCDA 0001 認定工場です。



本宮センター



マレーシア拠点
NJT SOLUTIONS (MALAYSIA) SDN. BHD.

生産品目 アルミ内面溝付き管

NJT銅管株式会社

本社・伸銅所

〒441-1295 愛知県豊川市大木町新道100
TEL: 0533-93-2311 FAX: 0533-93-5119

営業部

東日本営業室・開発営業室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 (茅場町一丁目平和ビル 5階)
TEL: 03-6631-9501 FAX: 03-6631-9509

西日本営業室

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-2-16 (大阪朝日生命館2階)
TEL: 06-7639-1881 FAX: 06-7639-1882

継手・住設事業部

住設営業室

●東京住設営業グループ

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 (茅場町一丁目平和ビル 5階)
TEL: 03-6631-9507 FAX: 03-6631-9529

●名古屋住設営業グループ

〒455-0064 名古屋市港区本宮町1-27
TEL: 052-307-5866 FAX: 052-661-7100

●大阪住設営業グループ

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-2-16 (大阪朝日生命館2階)
TEL: 06-7639-1879 FAX: 06-7639-1880

●九州住設営業グループ

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-5-1 (博多大博通ビルディング 10F)
TEL: 092-436-8822 FAX: 092-436-8823

<https://www.njt-copper.com/>

